



2学期も折り返し地点に到達しました。

10月になり、一気に秋の気配が感じられるようになってきました。現在、小学校では10月中旬の運動会に向けて、練習の真っ最中です。10月号では、学校評価（中間評価）のご報告と、浅口教育週間の2点について、ご報告します。



今月のお花 山本富美子先生

【学校評価（中間評価）】 [参考資料](#) R05学校評価（中間）

9月28日に、第3回学校運営協議会を開催し、7月に実施した保護者・児童・教員アンケートの結果に基づいた、学校評価の中間報告を実施いたしました。令和4年度と比較して、評価が下がっている箇所を中心に説明を実施し、学校運営協議会の出席者に助言を頂き、方向性を再確認いたしました。2学期より開始した新たな取組など、以下にご報告します。

<昨年よりも、評価が下がった項目>

1. 思いやりのある子ども

■思いやり（言葉遣い・言動）のある児童を育成する： 保護者評価 昨年より低下

【状況】・保護者の肯定的回答が、昨年度と比較して、8ポイント低下（92→84%）。
・児童、教員の肯定的回答は、昨年とほぼ同等。

【対策】・学校での児童の頑張りやよさを家庭に発信し、児童が家庭で認めてもらえる機会を増やせるよう、2学期から「はなまるカード」の取組を開始した。教員が児童のよいところに気付いたら、はなまるカードを手渡し、家庭でも見て頂く。

■気持ちの良い挨拶を進んでする児童を育成する： 教員評価・保護者評価 昨年より低下

【状況】・教員の肯定的回答が、昨年度と比較して13ポイント低下、保護者も4ポイント低下（教員93→80%、保護者75→71%）。

・児童の肯定的回答は、昨年より5ポイントアップし、児童の自己評価は高い。

【対策】・児童の代表委員会で話し合った結果、2学期より新たなあいさつ運動を開始。

・児童朝会での校長訓話にて、校門での朝の挨拶以外に帰りの挨拶の大切さと、先生への挨拶だけでなく、地域の方や家庭での挨拶の大切さを児童に発信。

2. 進んで学ぶ子ども

■基礎的・基本的な学力の定着を図る。算数・国語の単元末テスト全員70点以上。： 目標未達

【状況】・全学年を通じて、国語科の達成率は85～99%、算数科の達成率は84～95%であり、全員70点以上の目標については未達。

【対策】・朝の学習の時間を活用し、全体底上げとしては難易度別プリントの活用、個別の支援としては、担任外の教員を含む2名体制での支援を継続的に進める。

3. 元気な子ども

■業間運動の取組を充実させ、運動の楽しさを感じ取らせる： 教員評価 昨年より低下

【状況】・教員の肯定的回答が、肯定的回答が70%に満たず、昨年より低下した（100→70%）。熱中症との兼ね合いで、外遊び禁止日が連続したことが影響している。

【対策】・保健委員会&運動委員会コラボ企画により、外遊びが出来ない場合、室内で身体を動かす取組として、2学期より「室内リズムジャンプ」を開始。

【あさくち教育週間（10月23日～10月27日）】

浅口市では、11月1日の「おかやま教育の日」に先立ち、学校の教育活動を広く市民に公開する「あさくち教育週間」を設けています。下記の通り、授業公開を行いますので、普通の学校の様子をご覧ください。 学校公開日： 10月23日（月）～10月27日（金） 9:30～15:00

※お時間ございましたら、是非校長室へもお越しください。学校へのご意見など伺いたく、お待ちしております。